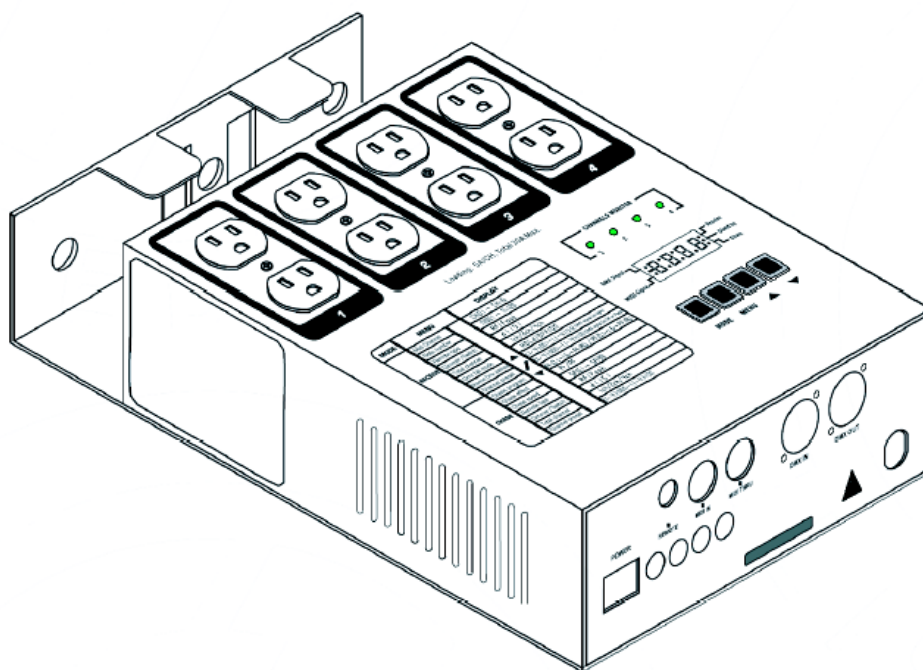




CYBER PAK

取扱説明書

Ver1.04



株式会社 サウンドハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は Elation CYBER PAK をご購入頂き誠にありがとうございます。

本製品の性能を最大限に発揮させ、末永くお使い頂くために、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読みください。また、本書が保証書となりますので大切に保管してください。

基本仕様

- 16 チェースプログラムを内蔵した 4 チャンネルのチェーサー
- 4DMX チャンネル・ディマーパック
- MIDI 信号での制御が可能
- ディマーパック/スイッチパックの切替え可能
- 1、2、又は 4 チャンネルのディマーパックに切替え可能
- チェースプログラム動作時にフェードイン/フェードアウト設定が可能
- DMX FAIL モード時に出力の HOLD/OFF/ON を設定可能
- REMOTE TYPE で FOOT と RF の調整可能
- 停電時のメモリーバックアップ機能を搭載

安全上のご注意

1. 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認してください。
2. 本体又は電源ケーブルに損傷がある場合は、本製品の使用をお止めください。
3. 本体は必ず安全で、安定した場所に設置してください。電源ケーブルは踏まれたり、挟まれたりすることのない場所に設置してください。
4. AC100V 50/60Hz 環境にてご使用ください。
5. 本体への接続が全て完了してから本体の電源を入れてください。他の機材と接続する際には必ず電源ケーブルをコンセントから外して行ってください。
6. 感電防止のため、使用中は部品に触れないでください。本体カバーを外した状態で本製品を使用しないでください。
7. 本製品は屋内専用です。屋外で使用了場合は保証対象外となります。
8. 本体は通気性の良い場所に設置し、布等を被せないよう、また、周囲に可燃物や爆発物、高温の物体を置かないようご注意ください。使用中は本体が熱を持ちますので、近くには何も置かないでください。
9. 本製品に液体がかからないよう、また、雨天や湿気にさらさないようご注意ください。感電や火災の原因になります。
10. 長時間ご使用にならない場合は電源ケーブルを電源コンセントから抜いてください。

故障が生じた場合はお手数ですが販売店もしくはサウンドハウスに連絡してください。
メンテナンス以外の目的において無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となる場合があります。

基本機能

フロントパネル

1. チャンネル出力

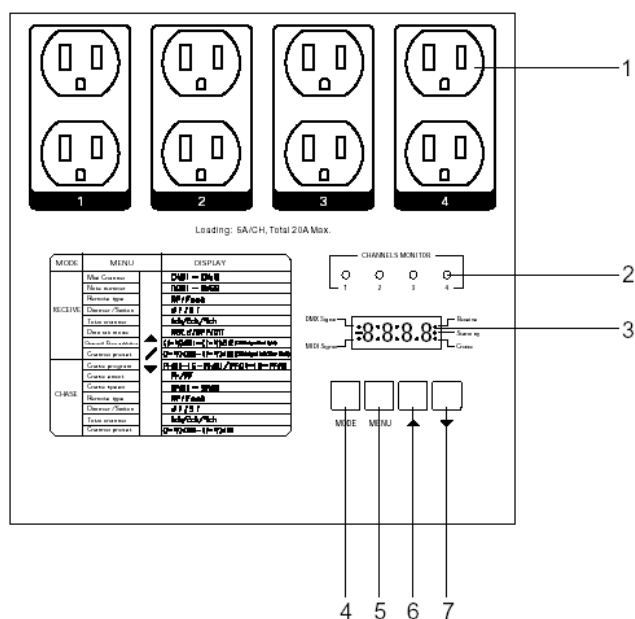
5A/チャンネル、合計最大 15A
まで出力可能です。

2. チャンネル LED

各チャンネルの状態を表示します。

3. ディスプレイ

選択されているプログラムと
機能の状態を表示します。



4. MODE ボタン

RECEIVE/CHASE モードの選択を切り替えます。

5. MENU ボタン

RECEIVE/CHASE モード時に各機能を選択します。

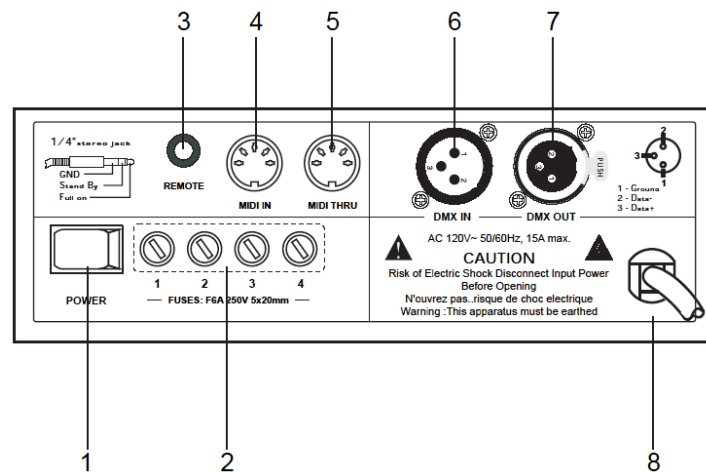
6. UP ボタン

モードを切替える時、又はコントロール値を上げる時に使用します。

7. DOWN ボタン

モードを切替える時、又はコントロール値を下げる時に使用します。

リアパネル



1. 電源スイッチ

電源のオン/オフを切替えます。

2. チャンネルヒューズ

4 系統の出力チャンネルは過大出力などから機材を守るために 6A のヒューズがそれぞれ搭載されています。

3. リモートコントローラー接続端子

オプションのフットスイッチ等を接続します。

4. MIDI IN 端子

MIDI コントローラーや MIDI シーケンサー等から MIDI 信号を受信します。

5. MIDI THRU 端子

他の MIDI 機器に MIDI 信号を送信します。

6. DMX IN 端子(オスの 3 ピン仕様 XLR)

DMX 信号を受信します。

7. DMX OUT 端子(メスの 3 ピン仕様 XLR)

DMX パワーパックやディマー等に DMX 信号を出力します。

8. 電源ケーブル

電源コンセントにします。

基本操作

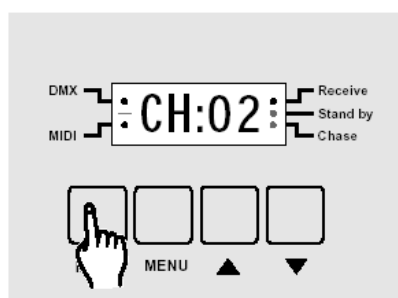
RECEIVE モード

DMX コントローラーや MIDI シーケンサーを使い、灯体をオンにしたり、調光することが可能です。ディマーは 4 つの独立した DMX アドレスがあり、DMX FAIL モードにより DMX 信号が途切れた際に出力の割当てを行うことができます。また、1、2、3、又は 4 チャンネルのディマーパックとして機能させることが可能です。

1. RECEIVE モードの選択

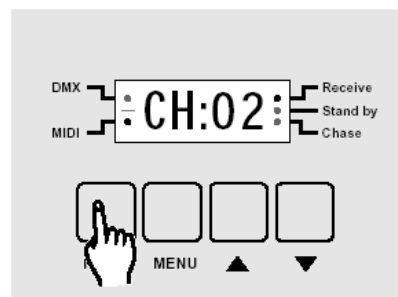
RECEIVE モードをオンにするために、ディスプレイの右上に RECEIVE LED が点灯するまで MODE ボタンを押してください。

DMX 信号を受信すると DMX LED が点滅し DMX 信号を受信していることを表示します。また本体が MIDI 信号を受信した場合 MIDI LED が点滅し MIDI 信号を受信していることを表示します。

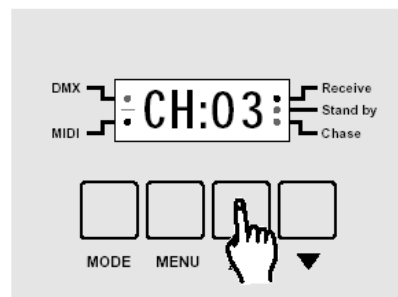


2. MIDI チャンネル

2.1 RECEIVE モードに入るとディスプレイに “CH(01～16)” が表示されます。

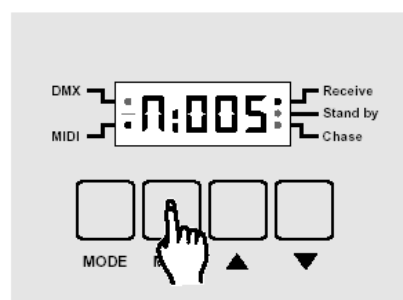


2.2 UP ボタンと DOWN ボタンを使って MIDI チャンネル 01～16 を選択します。Cyber Pak と MIDI シーケンサーの MIDI チャンネルが一致するように選択してください。



3. ノートナンバー

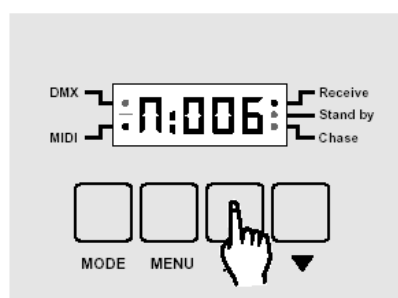
3.1 RECEIVE モードに入りディスプレイにノートナンバー(n.xxx)が表示されるまで MENU ボタンを押してください。



3.2 UP ボタンと DOWN ボタンを使って 1～128 の範囲でノートナンバーを選択してください。

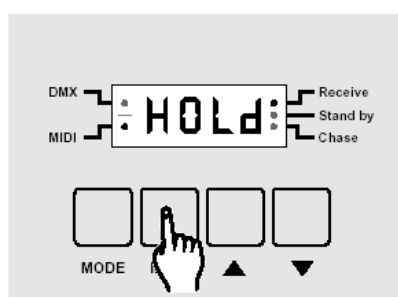
※ 設定したいノートナンバーに 1 を足した数値を選択してください。

例: ノートナンバー64 で制御したい場合、数値“n.065”を選択してください。



4. DMX フェイルモード

4.1 RECEIVE モードに入りディスプレイに HOLD/OFF/ON の何れかが表示されるまでメニューボタンを押してください。DMX フェイルモードは DMX 信号が途切れた時に出力の割当てを行うことができます。

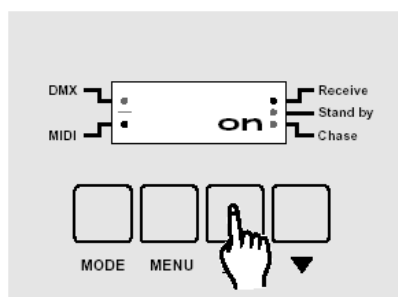


4.2 UP/DOWN ボタンを使って HOLD、OFF、ON から選択してください。

[HOLD] :最後に行った DMX の設定が出力に反映されます。

[OFF] :出力がオフに設定されています。

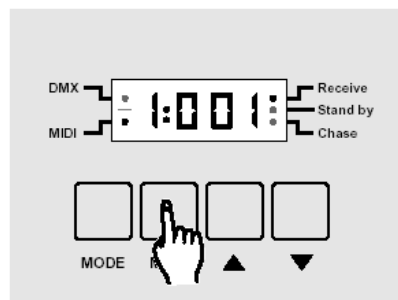
[ON] :出力が最大に設定されています。



5. チャンネル DMX アドレス

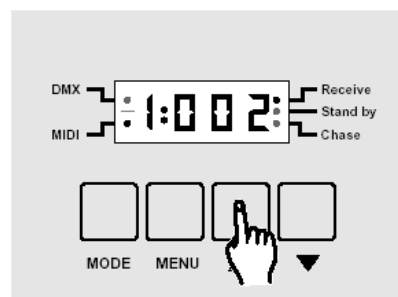
5.1 RECEIVE モードに設定してください。

5.2 ディスプレイに DMX アドレスが表示され、DMX LED が点灯するまでメニューボタンを押してください。



5.3 UP/DOWN ボタンを使って 001~512 の範囲で DMX アドレス (1:xxx) を設定してください。

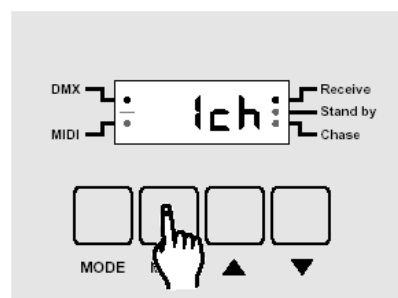
5.4 5.2~5.3 を繰り返し各チャンネルの DMX アドレスを設定してください。



6. 1CH / 2CH / 4CH ディマーパック

6.1 RECEIVE モードに設定してください。

6.2 ディスプレイにチャンネル出力モードが表示されるまでメニューボタンを押してください。この設定により本体ディマーを 1、2、又は 4 チャンネルのディマーとして使用可能です。

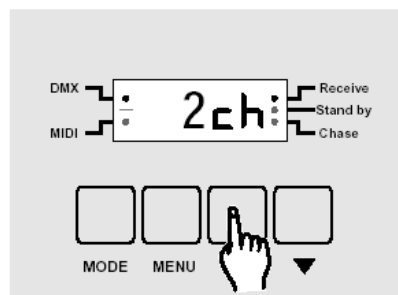


6.3 UP/DOWN ボタンを使って 1CH / 2CH / 4CH の設定を行ってください。

[1ch] 全ての出力チャンネルは同一の DMX チャンネルによってコントロールされます。

[2ch] チャンネル 1 と 2 が 1 つの DMX チャンネルによってコントロールされ、チャンネル 3 と 4 がもう 1 つの DMX チャンネルによってコントロールされます。

[4ch] 各チャンネルがそれぞれ個別の DMX チャンネルでコントロールされます。

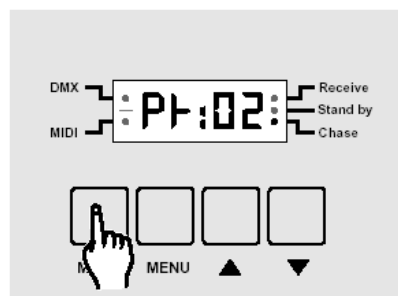


CHASE モード

ディマーを 4 チャンネル出力に設定すると本体を 4 チャンネルのチェーサーとして使用することが可能です。CHASE モード時には 16 の内蔵プログラムから選択することができる他、用途に合わせて自由に設定することが可能です。またプログラムのチェースのスピードを設定することが可能です。

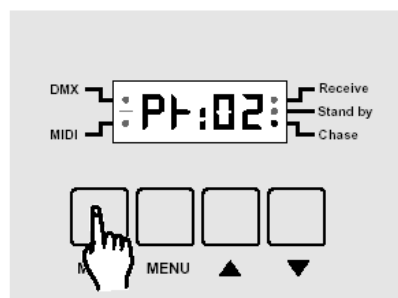
1. CHASE モードの選択

ディスプレイにチェース LED が点灯するまでモードボタンを押してください。

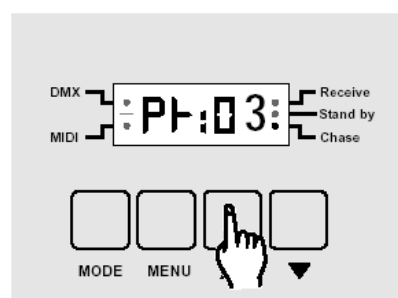


2. CHASE プログラム

2.1 チェースモードに入るとディスプレイにチェースプログラムが表示され、チェースを開始します。

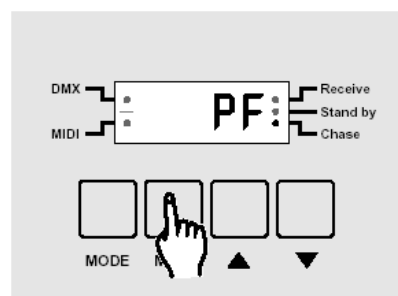


2.2 UP/DOWN ボタン使って 1～16 のプログラムを選択します。



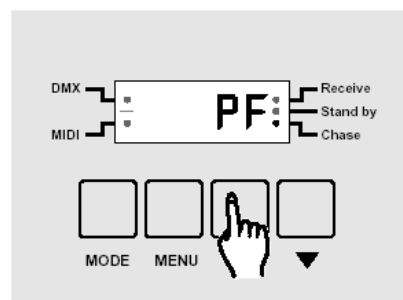
3 チェースエフェクト

3.1 チェースモード時にメニューボタンを押し、UP/DOWN ボタンを使って“Pr”又は“PF”を選択してください。



3.2 “Pr”を選択するとフェード有り、“PF”を選択するとフェード無しでチェースが起動します。

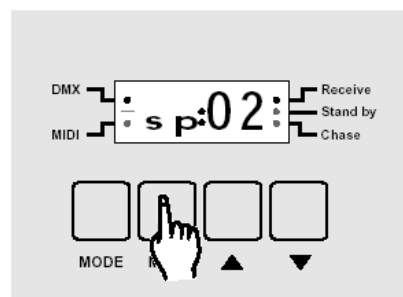
注：本体がスイッチパックに設定されている時、プログラムはフェード無しでチェースします。本体がディマーパックとして機能している時のみプログラムにフェードを設定することが可能です。



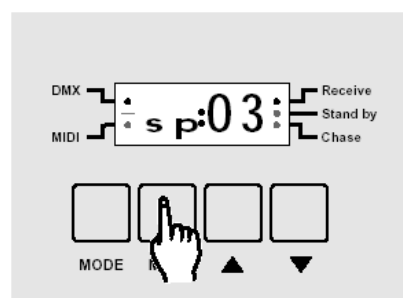
4 チェーススピード

4.1 チェースモードに入ります。

4.2 メニューボタンを押してディスプレイに“SP”と表示させてください。



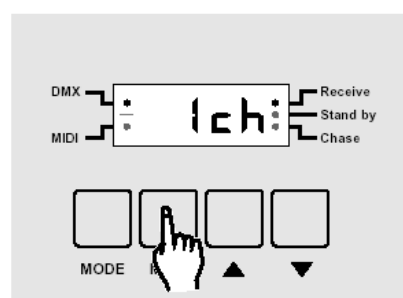
4.3 UP/DOWN ボタンを使ってチェーススピードを設定してください。01 が最も遅く、99 が最も速いスピードに設定されています。



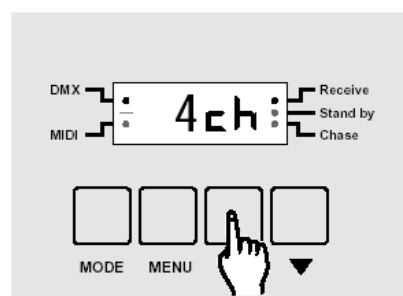
5 4 チャンネルチェーサー

5.1 チェースモードに入ります。

5.2 メニューボタンを押してディスプレイにチャンネル出力モード(x チャンネル)を表示させてください。

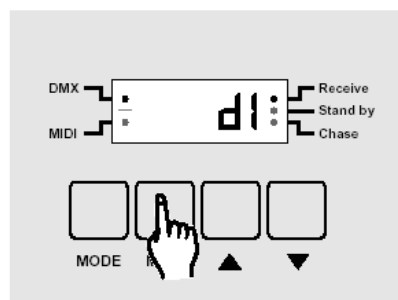


5.3 UP/DOWN ボタンを使用して 4 チャンネルモードを選択してください。本体が 4 チャンネルチェーサーとして設定されている時のみプログラムがチェースをします。

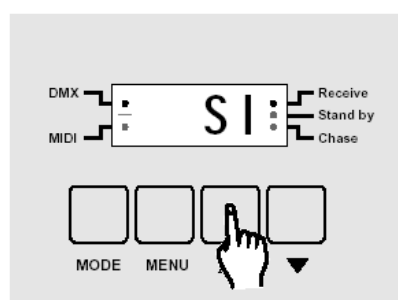


ディマーパック/スイッチパック

- 1 レシーブモード、又はチェースモード時にメニューを押して“DI”又は“SI”を表示させてください。

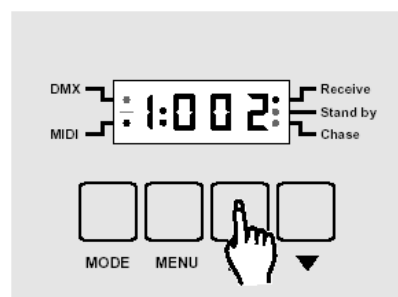
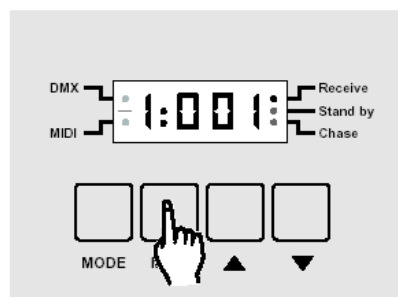


- 2 UP/DOWN ボタンを使って“DI”又は“SI”を選択してください。DI が選択された場合、本体はディマーパックとして機能し、4つの出力チャンネルの照度を調節することが可能です。またチェースエフェクトがオンの場合プログラムはフェードします。“SI”が選択された場合、本体はスイッチパックとして機能し、出力のオン/オフのみ調節することが可能です。プログラムはフェード無しに瞬間的に次のステップに移ります。



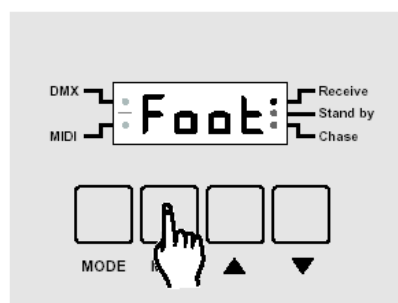
チャンネル・ディマー・リミット

- 1 レシーブモード、又はチェースモード時にメニューボタンを押し、ディスプレイにチャンネル・ディマー・リミット(1:xxx)を表示させてください。DMX LED が点灯、又は消灯します。
- 2 UP/DOWN ボタンを使ってディマー出力を 000～100 の範囲で設定してください。
- 3 2～3 を繰り返し 4 チャンネルのディマー出力を設定してください。

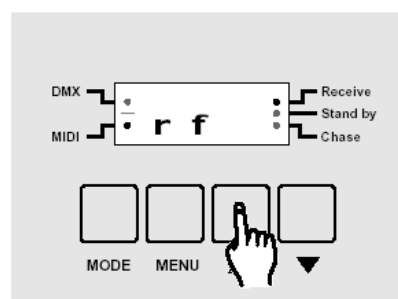


リモートタイプ

- 1 レシーブモード、又はチェースモード時にメニューボタンを押し、ディスプレイに“FOOT”又は“RF”を表示させてください。



- 2 UP/DOWN ボタンを使って FOOT 又は RF を選択してください。FOOT モードが選択された場合、オプションのフットコントローラーで本体を操作することが可能です。また、RF モードが選択された場合、オプションの RF コントローラーで本体を操作することが可能です。

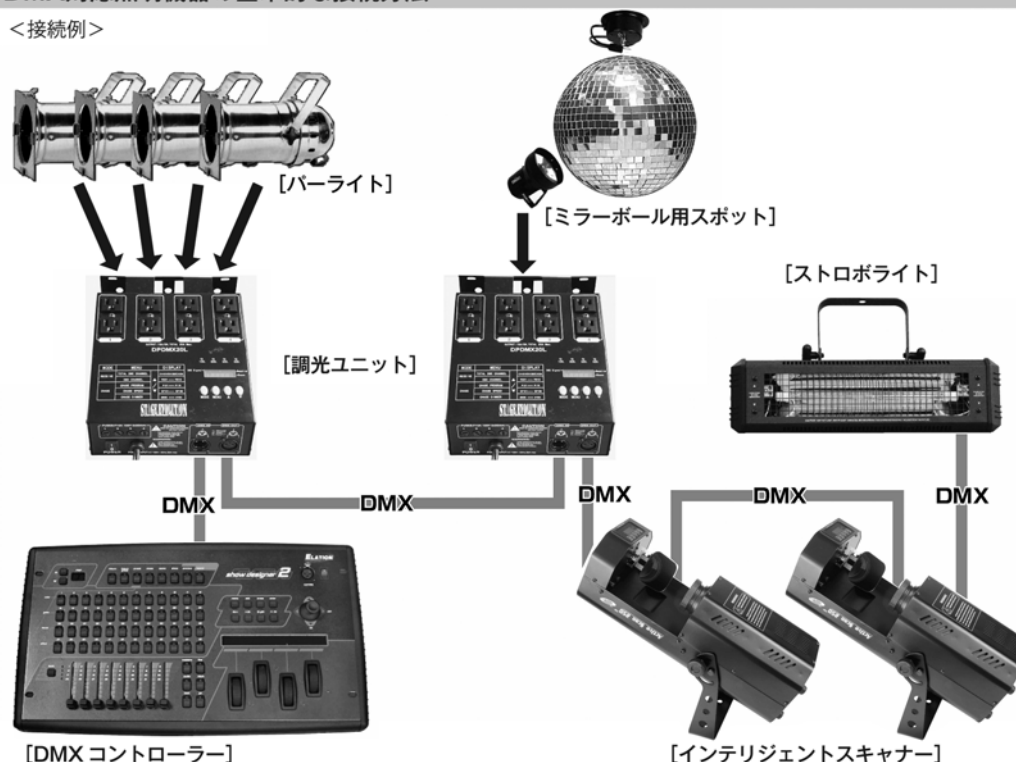


基本仕様

使用電源	: AC100V、50/60Hz 15A
チャンネル最大出力	: 5A/チャンネル、合計 15A
チャンネルヒューズ	: 6A 250V 20mm
DMX 入出力端子	: XLR メス/オス端子
MIDI IN/THRU	: MIDI 端子
サイズ	: 18.8(W) × 7.1(H) × 21.2(D) cm
重量	: 2.7Kg

DMX対応照明機器の基本的な接続方法

<接続例>



- DMX対応の照明機器は、上の図の様に配線を行います。配線用ケーブルにはDMXケーブルを使用して下さい。接続する台数に制限はありませんので、複数の照明機器を簡単に接続可能です。DMX対応のスモークマシンも同様に接続可能です。
- DMX対応の照明機器を接続する順番は決まっていますが、なるべく距離が長くない様に配線を行って下さい(※)。
- 調光ユニット(ディマー)を使用し、パーライト(PAR64やPAR38等)の明るさを調節します。
- インテリジェントスキャナーや、ストロボ等の電源は通常のコンセントからとって下さい。パーライト以外の照明機器の電源を調光ユニットから取った場合、動作が不安定になる、又は動作しない場合があるばかりか故障の原因にもなります。DMX非対応のインテリジェントライトも同様に通常のコンセントから電源を取って下さい。

※一長距離の配線についてー

50mを超えるような配線になる場合、DMX信号の伝達がうまくいかず照明機器の動作が不安定になることがあります。その場合、ターミネーターを作成/使用して下さい。ターミネーターとは最後に接続されたDMX対応照明機器の出力に差し込むダミープラグをさします。作成の方法は下記の作成方法を参照して下さい。

ターミネーターの作成方法

	ターミネーターは、HOSA DMT-414をお勧め致します。
	自作される場合はオスのXLRコネクタを使用し、120Ω 1/4Wの抵抗を、図の様に2番と3番ピンに接続しショートさせて下さい。

保証書

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より1年間有効

■保証規定

保証期間内において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書きに基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。保証期間は通常ご購入日より1年ですが、商品によって異なる場合があります。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取扱方法が不適当（例：ボイスコイル焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. お客様自身が行った調整や修理作業が原因となる故障および損傷。もしくは、製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことによる故障及び損傷とみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動等）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト、各種パーツ、ギター弦等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. その他、メーカーや代理店の判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の発送や持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、弊社指定の運送会社により着払いにて受け付けます。その際、下記RA番号が必要となります。沖縄などの離島の場合、着払いでの受付は行っておりませんので、送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

サウンドハウス宛に商品を送る際は、いかなる場合でもサポート担当より通知されるRA番号を必要とします。また、初期不良または保証期間内の修理における着払いでの運送についても、RA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状に明記してください。RA番号が無いものについては、着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみに有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損失等の損害に関して、サウンドハウスは一切の責任を負いません。

加えて、交換や修理等には当初の予定よりも時間を要することがありますが、遅延に関連する損害についても一切の責任を負いません。また、原則として代替機は、ご用意しておりませんのであらかじめご了承ください。

